



# 健康経営報告書

---

更新 2024年10月1日

<b>01. 健康経営の目的・体制</b>	<b>P3～P4</b>
1 健康経営の目的	
2 健康経営の推進体制	
<b>02. 健康経営の目標</b>	<b>P5～P6</b>
1 健康づくり活動ロードマップ	
2 健康づくりの方向性	
3 健康づくり活動の目標	
<b>03. 健康経営の実績</b>	<b>P7～P8</b>
<b>04. 代表的な健康づくり活動</b>	<b>P9～P11</b>
1 スモークフリー活動	
2 保健指導の推進	
3 全社を挙げた健康づくり活動	
<b>05. 健康づくりの環境整備</b>	<b>P12～P13</b>
1 社員食堂の整備	
2 社内トレーニングルームの整備	
3 血圧測定コーナーの整備	
4 睡眠時無呼吸症候群の簡易検査実施	
5 レディース検診受診の促進	
<b>06. 健康経営の実績</b>	<b>P14</b>

## 1 健康経営の目的

トヨタバッテリー株式会社では、「社員の健康づくりを支援することが会社の持続的発展」に不可欠だと考え、“安全と健康第一”の基本理念のもと、さまざまな活動に取り組んでいます。今後も社員一人ひとりが、将来にわたり心身ともに健康で活力に満ちあふれ、明るく元気よく働くことができるよう、全社一丸となって取り組んで参ります。

### トヨタバッテリー健康宣言

当社は、社員一人ひとりが心身ともに健康で、活力に満ちあふれ、明るく元気に働いてほしいと願っています。  
健康であることは、本人のみならず家族の幸せにもつながると考えています。

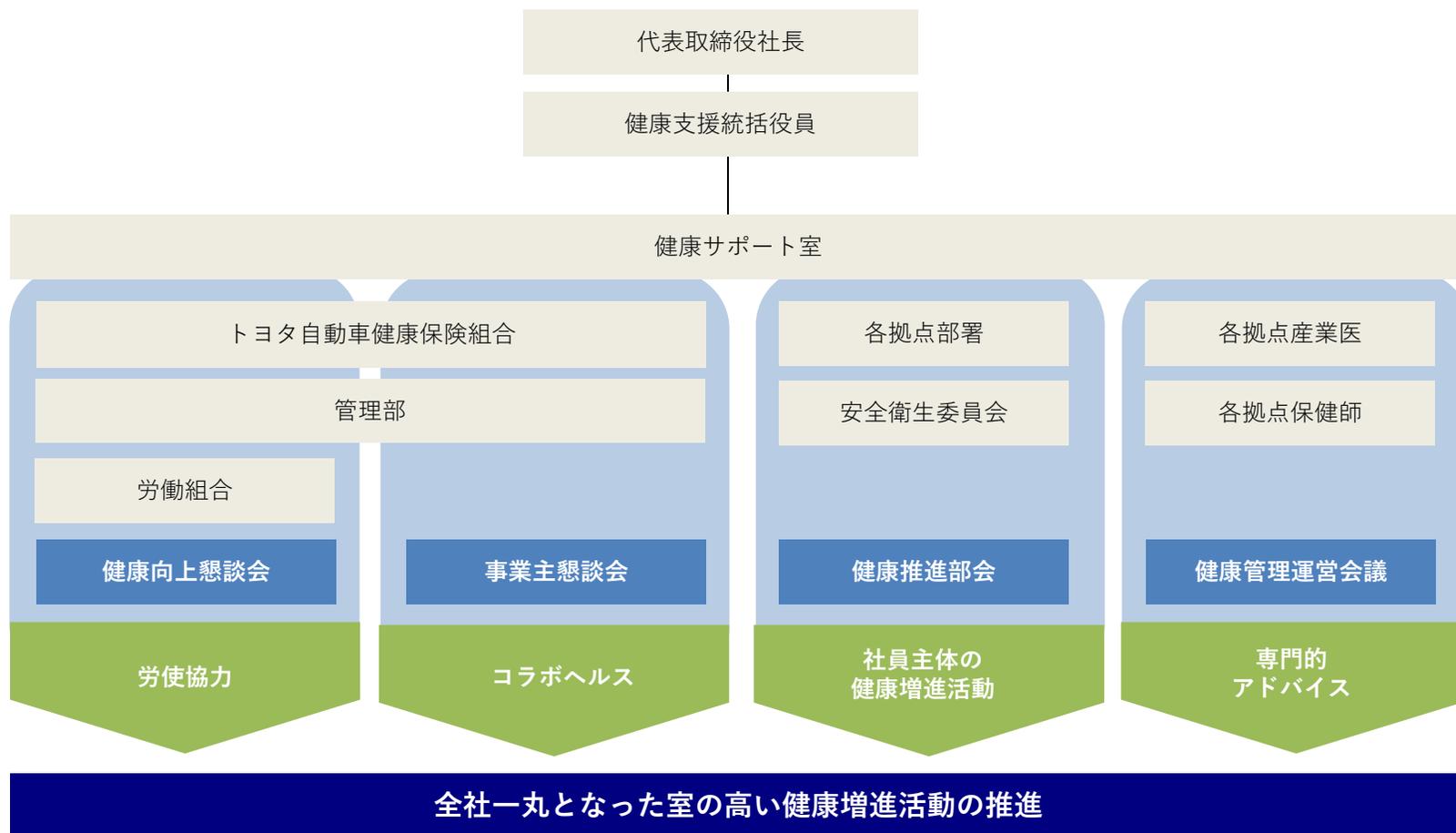
行動指針である「安全・健康の確保を最優先」という考えの元、  
これまで取り組んできた健康施策を更に深化させ、  
「地球環境の維持向上」や「省エネルギー社会の実現」に向けて  
より社員が健康で生き生きと活躍できる会社づくりに邁進する事を宣言します。

2024年10月1日

トヨタバッテリー株式会社  
代表取締役社長 岡田 政道

## 2 健康経営の推進体制

健康づくり活動は健康サポート室が主体となって全社横断的に実施しており、健康づくりの目標を定め、目標達成のための活動・支援を行っています。それぞれの事業所には健康推進部会が置かれ、自発的な健康増進活動を行っています。健康向上懇談会や事業主懇談会を管理部やトヨタ健康保険組合・労働組合と行っており、そうした連携を活かし、労使協力のもと健康づくり活動を行っています。

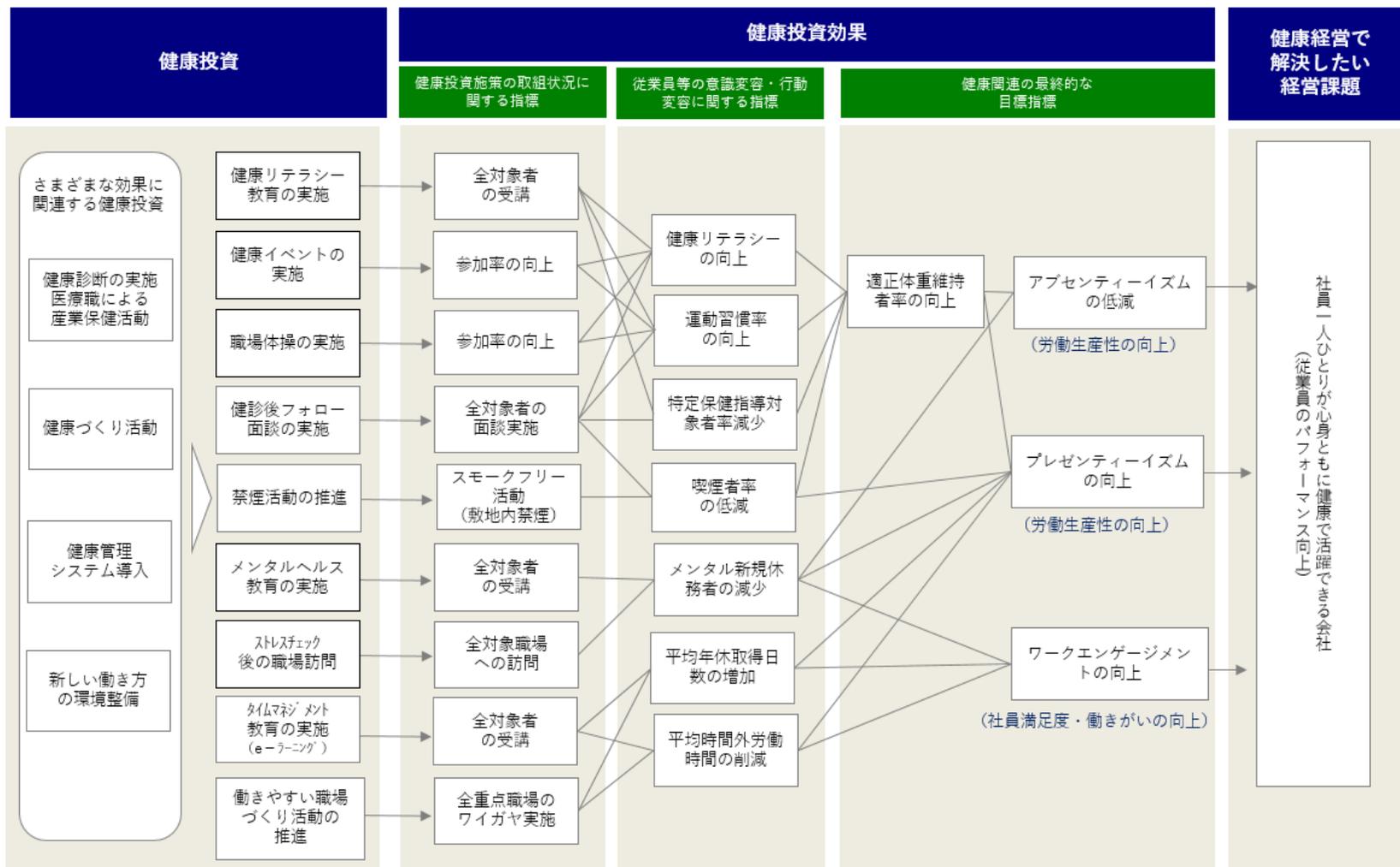


## 1 健康づくり活動ロードマップ

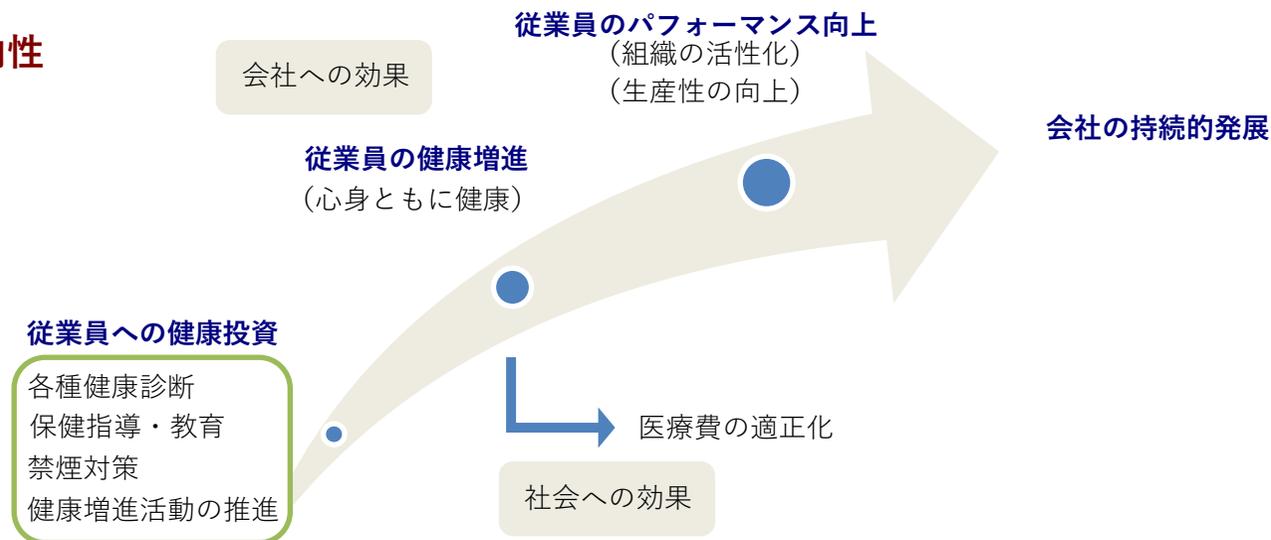
2023年9月に「健康づくり活動ロードマップ」を定め、健康経営のさらなる推進を図っています。

### 健康づくり活動ロードマップ

安全健康推進室  
管理部



## 2 健康づくりの方向性



## 3 健康づくり活動の目標

健康経営を進めることで、従業員の心身の健康状態の改善と従業員のパフォーマンス向上を目標としています。当社は、平均年齢36.9歳（2023年3月末現在）と若い世代が多くありますが、比較的肥満者が多いのが特徴です。（健康保険加盟企業平均年齢41.3歳、肥満者の割合は加盟企業平均に比べ約10%肥満者が多い）肥満は、生活習慣病等さまざまな病気リスクの原因となる事から、健康経営を進める事で健康状態を改善し、業務パフォーマンスを向上させ、歳を重ねても生き生きと活躍できる会社を目指し健康づくり活動の目標指標を定め活動しています。

項目		指標	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
メンタル		新規休務者件数	前年度半減	前年度半減	前年度半減	前年度半減
健康増進	適正体重維持者率	BMI 18.5 ≦ BMI < 25	65.0%	66.0%	67.0%	68.0%
	非喫煙率	喫煙していない	73.5%	75.0%	76.5%	78.0%
	運動習慣率	2回/週・1回30分以上 1年以上継続	26.0%	28.0%	30.0%	32.0%

# 03 健康経営の実績

	内 容	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
健康診断等、受診率	定期健康診断	100%	100%	100%	100%
	節目健康診断（人間ドック健診）	100%	100%	100%	100%
	ストレスチェック	98.1%	97.9%	97.9%	96.8%
	女性のがん検診受診率 上段：子宮頸がん検診 ※20歳以上 下段：乳がん検診 ※40歳以上	31.5% 30.4%	29.8% 32.9%	21.3% 37.8%	25.0% 35.2%
健康診断結果 事後措置	適正体重維持者率（BMI18.5～25未満）	63.8%	64.2%	64.3%	63.2%
	非喫煙率（喫煙していない人の割合）	67.3%	70.7%	72.1%	73.4%
	運動習慣率（2回/週・1日30分以上1年以上継続）	22.8%	22.7%	24.4%	27.1%
	高ストレス者率 （定義：ストレス調査で高ストレスと判定され面談した者）	—	—	—	0.4%
	定期健診後の精密検査受診率	83.0%	79.4%	79.0%	80.3%
	要管理のハイリスク者率 （定義：身体・メンタル等の不調により就業上の制限をしている者）	—	—	—	2.9%
全社の健康づくり活動	健康チャレンジキャンペーン ※2023年度より実施 上段：参加率、 下段：満足度（満足・やや満足）	—	—	—	45.4% 39.8%
	ウォーキングラリー ※2023年度より実施 上段：参加率、 下段：満足度（満足・やや満足）	—	—	—	43.9% 48.3%
健康支援/教育	保健指導実施率 （定義：特定保健指導対象者の内、面談を実施した者（自社集計））	88.1%	91.2%	92.3%	※
	禁煙指導延べ人数	229名 内2020年度 59名	246名 内2021年度 17名	267名 内2022年度 21名	279名 内2023年度 12名
	健康に関する学習会参加者数 ※ 節目健康診断対象者（36歳以上、1回/4年） ※ 学習会内容（がん・動脈硬化・栄養・歯周病・たばこ・睡眠、運動、等）	427名	434名	479名	481名

	内 容	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
健康リテラシー	「日常生活で健康に意識している」と回答した人の割合 ※ 測定方法：安全・健康意識調査（2023年8月より実施）	—	—	—	85.0%
ワークライフバランス	休暇取得の状況（平均年次有給休暇取得日数）	18.3日	21.5日	22.0日	21.4日
	労働時間の状況（平均月間所定外労働時間）	14時間	14時間	12時間	13時間
	平均勤続年数	9.7年	8.1年	8.8年	9.2年
	傷病による休職の状況（傷病による1週間以上の休務者率）	—	—	—	3.4%
アブセンティーズム	傷病で休んだ平均日数  ※測定方法：ストレスチェック （設問内容：「過去1年間に自身の体調不良や病気が原因で何日会社を休みましたか？」） ※回答率・測定人数：2020年度（96.4%、4,467名）、 2021年度（96.7%、4,514名）、2022年度（97.0%、4,494名）、 2023年度（94.0%、4,477名）	2.2日	2.4日	2.7日	3.4日
プレゼンティーズム	過去4週間の仕事の出来（能率70%以上と回答した割合）  ※測定方法：ストレスチェック （設問内容：「病気やケガがない時に発揮できる仕事の出来（業務のスピードや成果）を100%とします。過去4週間の仕事の出来（業務のスピードや成果）は何%でしたか？」） ※回答率・測定人数：2020年度（96.5%、4,467名）、 2021年度（97.0%、4,514名）、2022年度（97.4%、4,494名）、 2023年度（94.0%、4,477名）	84.5%	84.6%	84.4%	86.5%
ワークエンゲージメント	仕事のやりがい （感じる・どちらかといえば感じると回答した割合）  ※測定方法：従業員意識調査/職場マネジメントアンケート （設問内容：「仕事にやりがいを感じますか」） ※回答率・測定人数：2020年度（83.1%、4,716名）、 2021年度（82.1%、4,574名）、2022年度（89.0%、4,526名）、 2023年度（95.5%、4,521名）	48.7%	49.3%	49.4%	52.0%

## 1 スモークフリー活動

安全で健康な職場づくり（受動喫煙対策）として、2020年より全社を挙げた『スモークフリー活動』に力を入れて取り組んでまいりました。『2023年1月から会社敷地内の全面禁煙』を宣言し、その目標に向かってハード面、ソフト面でさまざまな対策を実施してきました。重点施策として取り組んだ結果、喫煙率がこれまでに比べ大きく減少しました。今後も禁煙希望者に対するサポートを積極的に取り組んでいきます。



### ① スモークフリー活動ロードマップ

対策項目		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
ハード面対策	就業時間内禁煙の推進	定期的な巡回を実施			2023年1月	
	全社禁煙データの拡大	禁煙デー 2回/月	禁煙デー 4回/月	禁煙デー 8回/月	敷地内全面禁煙	
	喫煙所の移設・削減	屋内禁煙所撤廃		屋外禁煙所撤廃		
	たばこの社内販売廃止	社内販売廃止				
ソフト面対策	上層部の卒煙率先垂範	役員・理事	敷地内禁煙の実施			
	禁煙サポート活動	禁煙支援プログラム・オンライン禁煙プログラム				
	啓発活動	禁煙講話・健康教育の実施・ポスターでの周知活動				



### ② 禁煙支援プログラム

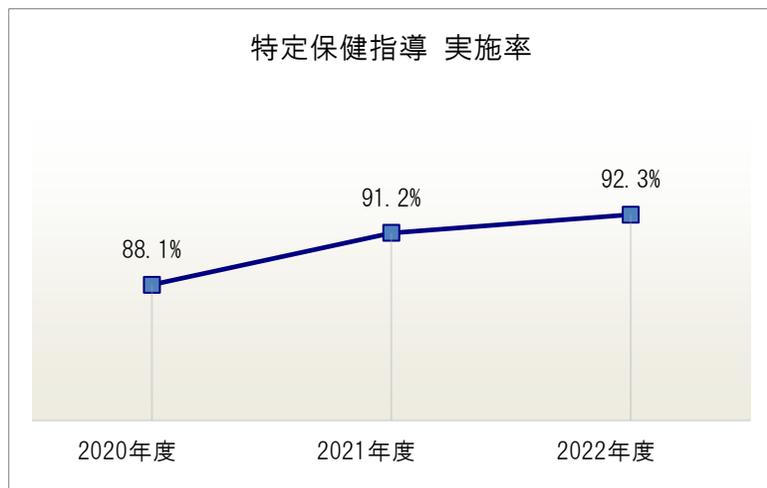
健康サポート室ではオリジナルの禁煙支援プログラムを実施しており、希望者に対して保健師によるサポート面談やニコチンパッチの無料支給を実施しています。2020年1月からは、さらにサポートを強化するため、新たにオンラインによる禁煙プログラムをスタートし、自宅に居ながら気軽に禁煙に挑戦できる環境を整備しています。

(禁煙支援プログラム参加者：279名/2017年度～2023年度、投資額：約360万円/ニコチンパッチの無料支給)

## 2 保健指導の推進

### ① 保健指導の実施状況

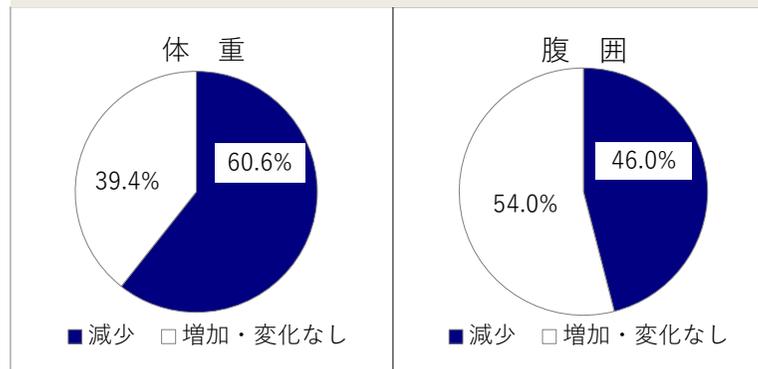
当社の健康サポート室では、従業員一人ひとりに合わせた特定保健指導に力を入れており、その実施率は高い水準で推移しています。さまざまな保健指導ツールを活用しながらメタボリックシンドローム予防対策を行っています。



※特定保健指導 実施率：特定保健指導対象者の内、面談を実施した者の割合（自社集計）

### ◆特定保健指導の効果（2022年度）

約50%の方が保健指導後に体重・腹囲が減少  
（平均体重：▲0.3kg減少、平均腹囲：0.2cm減少）



### ② 主な保健指導効果ツール

#### ◆体成分分析装置（インボディ）

体重だけではなく、体脂肪率・筋肉量・脂肪量などから総合的に自身の身体の状態を把握できます。



#### ◆簡易血液分析装置

血糖や脂質の数値を測定可能な装置。特定保健指導の面談の際、食事や身体活動の改善の成果をその場でフィードバックすることができるため、従業員の生活改善のやる気にもつながっています。

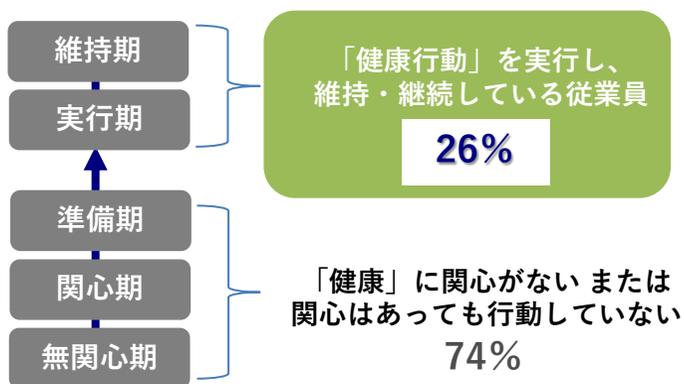


## 3 全社を挙げた健康づくり活動

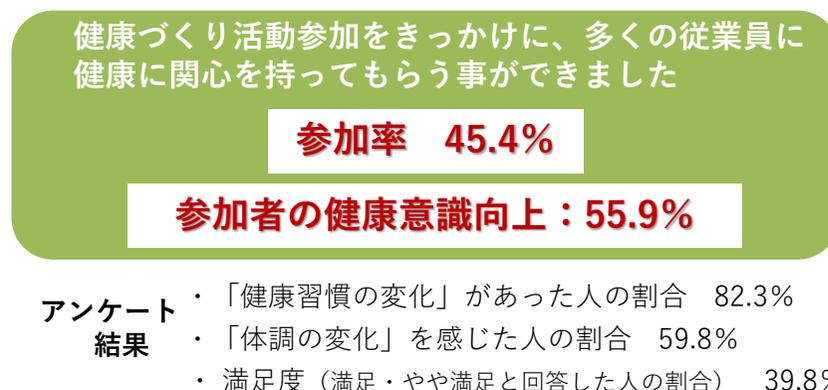
2022年度健康診断の問診の結果、従業員の26%しか健康行動を取れていないことがわかり、従業員にもっと健康に関心をもってもらうことを目的に、2023年度より全従業員を対象とした健康づくり活動をスタートさせました。

その結果、健康チャレンジキャンペーンでは、45.4%（2,022名）という多くの従業員に参加してもらうことができ、自身の健康と向き合い健康に関心をもってもらうことができました。今後は、この取り組みで身に付いた良い健康習慣を維持・定着していくために、さまざまな健康づくり活動を推進していきます。

### <2022年度 定期健診問診結果(行動変容レベル) >



### <2023年度実施 健康チャレンジキャンペーン>



### <健康チャレンジキャンペーン>

対象者：全従業員（派遣社員・出向者含む）

実施期間：2か月間

- 実施内容：① 実施コースを従業員自身で選択  
（「健康チャレンジ目標」の5部門17コース中から選択）
- ② Webサイトにログインし、挑戦したいコースを設定
- ③ 各コースに取組み、日々結果を入力。

### <ウォーキングラリー>

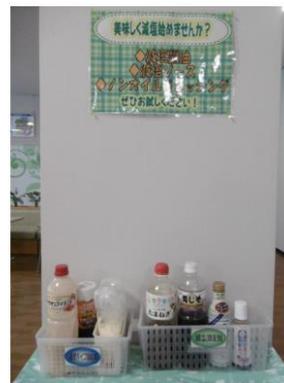
対象者：全従業員（派遣社員・出向者含む）  
※構内協力会社と連携して実施

実施期間：1か月間

- 実施内容：① 自分で目標を決めて、楽しく歩く
- ② 「グループチャット機能」で職場メンバーとコミュニケーション
- ③ 歩いた時に心に残った景色などを「フォトコンテスト」に投稿

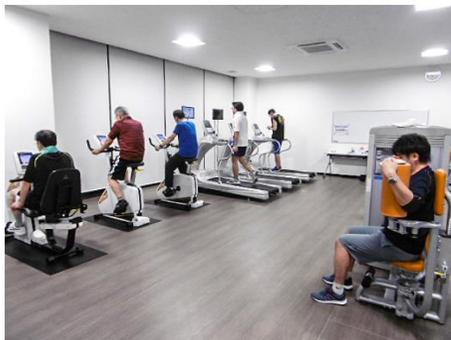
## 1 社員食堂の整備

当社の食堂では、減塩調味料を設置したり、ヘルシーメニューを提供したりするなど、従業員がより健康になれるような食事を提供しています。また摂取カロリーや塩分量も確認できる仕組みとなっており、従業員自身に自分の健康に目を向けてもらい、改善してもらえることを目指しています。



## 2 社内トレーニングルームの整備

2018年4月、日々の運動不足解消や運動習慣定着のために建設していた運動施設「アリーナ 結」が完成しました。体育館でサークル活動やスポーツイベント・運動セミナー等が行われたり、トレーニングルームなども完備しているため、多くの従業員が利用しています。



### 3 血圧測定コーナーの整備

従業員がいつでも気軽に血圧測定できる環境を整備するため、食堂等に血圧測定コーナーを設けています。また血圧手帳も配布し、自己測定がなかなか続かないという従業員に対し血圧測定を習慣化する動機づけを行っています。



### 4 睡眠時無呼吸症候群の簡易検査実施

睡眠時無呼吸症候群になると、自覚症状がなくても、放置すると高血圧や心血管疾患のリスクが高まるため、リスクの高い従業員に対して睡眠時無呼吸症候群の簡易検査を実施しています。

### 5 レディース検診受診の促進

当社では、レディース検診（乳がん検診・子宮頸がん検診）の受診を積極的に推奨するため、レディース検診の費用補助や予約代行等、さまざまな活動に取り組んでいます。



※当社は、2024年10月1日にプライムアースEVエナジー株式会社から、トヨタバッテリー株式会社に変更致しました